

水道事業再公営化をめぐる世界の動き — 日本水道事業民営化の動きもふまえて —

水道民営化が世界で本格的に進められて約 20 年が経過しました。しかし近年、世界で 267 件の水道が「再公営化」されています。

どうして自治体は、資金的にも政治的にも困難な「再公営化」の道を選択したのか。それは、市民に必要不可欠な公共サービスが民営化された結果、水道料金の高騰や水質悪化などのトラブルが相次いだからです。日本でも昨年水道法が改定され、コンセッション方式という民営化の手法が可能となりました。

安全な水は、国民のいのちと暮らしや、それを支える医療にとっても不可欠です。今後、日本で起こりうる事態や、それに対して市民ができることについてもお話しいたします。

きしもと さとこ

【講師】 **岸本 聡子** 氏

(オランダ・トランスナショナル研究所)



【日時】 **7月30日** (火)

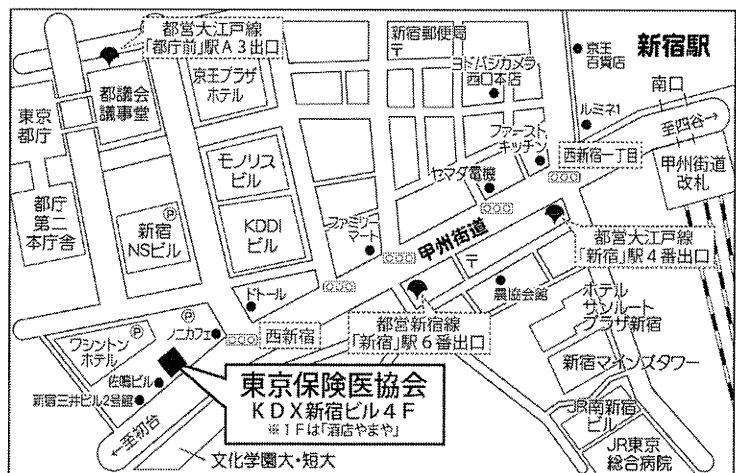
19:45 ~ 21:30

【会場】 東京保険医協会
セミナールーム

【定員】 80人 (先着順)

【参加費】 会員医療機関：無料
*ご家族・スタッフの方の参加も
歓迎

【申込み】 下記に必要事項を記入
のうえ、FAXでお送りください。
ホームページからもお申し込み
いただけます。



【7/30 水道民営化問題学習会 参加申込書】 >>> FAX: 03-5339-3449

会員名				医療機関名		
参加人数	人	TEL			FAX	

【主催・問合せ】 東京保険医協会 公害環境対策部 担当：岩崎、刈谷、市川

〒160-0023 新宿区西新宿 3-2-7 KDX 新宿ビル4階 TEL:03-5339-3601 FAX:03-5339-3449